

## 平成29年度事業計画について

## ○ 基本方針

共同調理場方式による学校給食事業を継続し、安全でおいしい給食を提供することで、児童生徒の心身の健全な発達と学校における食育の推進を図ることを基本方針とする。

## \* 学校給食の目標(学校給食法第2条要約)

- ・ 適切な栄養摂取による健康の保持増進
- ・ 食事についての正しい理解を深め、健全な食生活を営む判断力を培うことと望ましい食習慣を養うこと
- ・ 学校生活を豊かにし、明るい社交性及び協同の精神を養うこと
- ・ 自然の恩恵によって食生活が成り立つことへの理解を深め、生命及び自然を尊重する精神と環境保全に寄与する態度を養うこと
- ・ 食生活が食に関わる人々の様々な活動に支えられていることを深く理解し、勤労を重んずる態度を養うこと
- ・ 我が国や各地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深めること
- ・ 食料の生産、流通及び消費について、正しい理解に導くこと

## ○ 学校給食調理事業

## 1 給食の受配校及び食数（平成29年4月20日の発注表から）

学校等	食数	学校等	食数
西小学校	834	日進中学校	719
東小学校	580	青葉分校	34
北小学校	782	日進西中学校	920
青葉分校	35	日進東中学校	677
南小学校	970	日進北中学校	427
相野山小学校	300	中学校計	2,777
香久山小学校	842		
梨の木小学校	638	センター職員等	51
赤池小学校	769		
竹の山小学校	522		
小学校計	6,272		
合計 9,100		(平成28年度 9,046)	

## 2 給食の内容、献立の内容

- ・ 栄養量は「学校給食摂取基準」（文部科学省）を目標とする。
- ・ 一汁二菜とご飯の和風献立を基本とする。
- ・ 「季節の食材」を積極的に使用する。
- ・ 残食量を少なくするため、献立を工夫するとともに各校に残食量のデータを提供する。
- ・ 地場産物を積極的に使用する。（米飯は市内産の「あいちのかおり」を使用し、野菜や豚肉、卵、牛乳は1年を通して市内産や県産の使用拡大に努める。）
- ・ 郷土料理や季節にちなんだ行事料理を取り入れ、魅力ある献立作りを進める。特に「愛知を食べる学校給食の日」と1月の「全国学校給食週間」では、この地方ならではの郷土料理を献立に取り入れる。
- ・ 今年度の目標「和の食材を知ろう」
- ・ デザート(果物等)は月に2回程度を基本として、主菜・副菜との組み合わせにふさわしいものとする。
- ・ セレクト給食は年に、2回程度取り入れる。
- ・ 食べ方指導として「ひよこ運動」を進める。（献立表にイラストを添えてPR）  
**ひ**：左手をそえて(食器をしっかり持って)  
**よ**：よくかんで  
**こ**：ご飯とおかずを交互に食べよう

## 3 主食等1食あたりの使用規格

単位：g

		小学校			中学校		
		低学年	中学年	高学年	1年	2年	3年
米飯	4月～10月	50   60	60   70	70   80	90	100	
	11月～12月	60	70	80	100		
	1月～3月	60	70	80   90	100	90	
ロールパン		40	50	60	70		
ソフト麺	4月～10月	60	80	90	120		
	11月～12月	70	80	90	120		
	1月～3月	70	80	100	120		
うどん・きしめん		160	180	200	(220)	250	
牛乳		200	200	200	200		

※( )の数値は、中学1年の4月～10月の規格

## 4 アレルギー対応の状況

- ① 食物アレルギーのある児童生徒への対応として、アレルゲンの多い「乳・卵」抜きの日を設け、アレルゲンを取り除きやすい形の給食提供に努める。
- ② 児童、生徒に配布する献立表に、「乳・卵」抜きの日を記載する。
- ③ アレルギー情報として、毎月の献立、詳細献立表、アレルギー物質一覧表を各学校を通して、該当保護者に渡す。
- ④ アレルギーに関する献立説明会を毎月1回実施する。
- ⑤ 牛乳がアレルゲンの場合は、牛乳を献立からはずし、給食費から牛乳代金相当分(50円)を差し引く。

## 5 物資納入指定業者

平成 27 年度第 3 回学校給食センター運営委員会（平成 28 年 3 月 10 日開催）において「事業所の立地条件」「衛生状況」「供給能力」「信用」等を審査し適当と認められた業者及び平成 28 年度第 2 回学校給食センター運営委員会（平成 29 年 3 月 13 日開催）において追加登録を認められた業者とする。

## 6 栄養教諭・学校栄養職員による給食指導・栄養指導

授業で栄養指導を行い、給食時間に給食指導を実施するとともに、各小中学校から授業の要望があれば、随時実施する。

対 象	回 数	テ ー マ
小学校 3 年生	31	「1日のスタートは朝ごはんから」 生活リズムを整え、朝食を必ず食べることができる。食品の働きによる3つのグループ分けが理解でき、野菜を意識して食べることができる。
小学校 5 年生	28	「朝ごはんを食べよう」 生活リズムを規則正しく整え、朝食を必ず食べることができる。朝食の働きを理解して、主食、主菜、副菜を意識した望ましい朝食のあり方がわかる。
中学校 1 年生	27	「望ましい朝食のとり方について考えよう」 朝型の生活リズムを整えることができ、朝食の大切さを理解して、朝食を必ず食べることができる。6つの基礎食品群及び食事バランスガイドを応用して、望ましい朝食内容と量を考えて食べることができる。
合計	86	

## 7 給食センター見学会の実施

参加者が減少傾向にあることから開催方法等について見直し、隔月（奇数月）の開催とし、試食を伴う見学会を6回実施する。

市広報誌、献立表及び市ホームページにおいて周知することとする。

## 8 学校給食献立コンクール

対 象 市内小中学生（個人もしくはグループ）

募集方法 「給食だより」で周知。応募締め切りは9月1日（金）

テーマ(条件) 給食のメニューを考えよう！「こ～んな給食、食べたいなあ」  
（県内農畜産物の使用及びご飯によく合う和食）

優 秀 賞 6点を予定（賞状を授与し、献立に採用）

## ○ 給食センター施設・設備維持管理事務

日常及び定期点検において不具合を早期発見し、修繕を行うことで衛生管理の保全に努め、給食を安定して提供する。

## ○ 平成29年度 学校給食センター予算概要

## 1 学校給食費歳入歳出予算額

金額単位：千円

	予算額	対前年度比
歳入	422,817	97.61 %
歳出	754,704	104.69 %

## &lt;歳入内訳&gt;

単位：千円

	予算額等	前年度との比較
財産貸付収入	土地建物貸付収入	0 皆減
雑入	学校給食費徴収金	422,342 △1,188
	駐車場使用料	473 0
	保険受入金	1 0
	エネルギー使用合理化事業者支援補助金	0 皆減
	雑入	1 0
合計		422,817 △10,356

## ＜歳出内訳＞

単位：千円

		予 算 額 等	前年度との比較	
人件費	職員給与手当等	32,180	8,637	
	小 計	32,180	8,637	
学校給食調理事業	報酬 給食センター運営委員	70	△35	
	旅 費 普通旅費	11	3	
	需用費	消耗品費	8,002	△846
		燃料費	17,130	830
		食糧費	9	0
		印刷製本費	517	66
		光熱水費	24,884	△492
		修繕料	50	△50
		賄材料費	428,166	△1,207
	役務費	859	△27	
	委託料	腸内細菌検査委託料	663	△224
		一般廃棄物処理業務委託料	389	20
		給食配送業務委託料	34,554	0
		学校給食調理等業務委託料	125,820	756
	使用料及び賃借料	503	15	
	負担金	59	△12	
	公課費	0	皆減	
小 計	641,686	△1,210		
施設・設備維持管理事務	需用費 修繕料	8,690	4,370	
	委託料	汚泥処理業務委託料	3,197	△3
		污水处理維持管理委託料	1,955	△45
		警備委託料	382	0
		浄化槽保守点検委託料	180	30
		厨房機器保守点検委託料	2,132	80
		清掃業務等委託料	1,226	11
		建物等総合管理委託料	8,055	△2
		設計業務委託料	1,000	△511
	監理業務委託料	450	△450	
	使用料及び賃借料	2,636	△1	
	工事請負費	49,184	22,634	
備品購入費	1,750	246		
補償、補填及び賠償金	1	0		
小 計	80,838	26,359		
合 計	754,704	33,786		